

MeetingPlace 音声サーバ ハードウェアのトラブルシューティング手順

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[MeetingPlace 可聴周波サーバ 8112 か 8106 シャーシを識別して下さい](#)

[外観での識別](#)

[8112 オーディオサーバ](#)

[8106 オーディオサーバ](#)

[コマンド・ラインクエリ](#)

[LED 光識別](#)

[CLI にログインします。](#)

[ハードディスクドライブ](#)

[ディスク バックアップ](#)

[ディスクのパーティション](#)

[保存し、戻して下さい](#)

[戻して下さい](#)

[ブートプロセス](#)

[トラブルシューティング](#)

[不良なハードドライブを見つけて下さい](#)

[手順 1](#)

[手順 2](#)

[MeetingPlace のための SCSI ID 8112 のシャーシ ハードドライブ](#)

[壊れるディスクドライブを交換して下さい](#)

[MeetingPlace 8106 シャーシ](#)

[MeetingPlace 8112 シャーシ](#)

[追加ステップを解決して下さい](#)

[ブレード/ラインカード](#)

[CPU カード](#)

[不良な CPU カードを識別して下さい](#)

[CPU カードを取り替えて下さい](#)

[Network Interface Cards \(NIC \) 設定](#)

[MA ブレード](#)

[不良な MA ブレードを識別して下さい](#)

[MA ブレードを取り替えて下さい](#)

[追加手順](#)

[ブレード 設定コマンド](#)

[スマートなブレード](#)

[不良でスマートなブレードを識別して下さい](#)

[スマートなブレードを取り替えて下さい](#)

[パワー 問題](#)

[ヒューズ](#)

[電源モジュール](#)

[ファントレイ](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco Unified MeetingPlace リリース 6.1 およびそれ以前のための MeetingPlace 可聴周波サーバを解決するために使用されるプロセスを説明したものです。

背景説明

MeetingPlace 可聴周波サーバは Cisco Unified MeetingPlace リリース 6.1 およびそれ以前の主要なコンポーネントです。このサーバは会議を管理し、VoIP およびデジタル テレフォニーを処理し、音声会議および混合を提供し、主要なデータベースが含まれ、MeetingPlace 他のすべてのコンポーネントと通信します。

2 つのハードウェアモデルがあります:

- MeetingPlace 8112 シャーシ
- MeetingPlace 8106 シャーシ

注: マルチアクセス (MA) ブレードおよびスマートなブレードを除くこれらのサーバ使用異なる交換部品。

MeetingPlace 可聴周波サーバ 8112 か 8106 シャーシを識別して下さい

このセクションは 8112 または 8106 MeetingPlace 可聴周波サーバ シャーシを識別するために使用されるプロセスを説明します。

外観での識別

物理的な外観のインスペクションを用いる 2 シャーシを識別できます。このセクションはこれをする方法を記述します。

8112 オーディオ サーバ

8112 オーディオ サーバ シャーシにテレフォニー ブレードのための 12 の垂直スロットがあります。

正面図はここにあります:

背部ビューはここにあります:

8106 オーディオ サーバ

8106 オーディオ サーバ シャーシに 6 つの水平のテレフォニー ブレードがあります。

正面図はここにあります:

コマンド・ ライン クエリ

CLI のこれらのシャーシを識別するために、**hwconfig** コマンドを入力して下さい:

```
mtgplace:tech$ hwconfig
Cabinet: Motorola CPX8216T
Bus architecture: CompactPCI
Processor card: SMM5370LATUDE S/N=7644474
  Processor: Pentium III, Model 8, 700 MHz
  Memory: 512MB
  Temperature: 29C
  Voltages: 3.32V, 5.02V, 12.06V
Power Supplies:
  PS1: OK, fan is OK
  PS2: OK, fan is OK
  PS3: OK, fan is OK
SCSI Adapter: NCR 810
  DISK 1: 36000MB (SEAGATE ST373207LW REV=0005)
  DISK 2: 36000MB (SEAGATE ST373207LW REV=0005)
Ethernet: Intel 8225x PCI 10/100 (0001af195607)
  *** MAC Address ***
Modem: Absent or unrecognized
MultiAccess Blades:
  Slot 16: AC TP1610-4 S/N=1334228 REV=0 AC0
Smart Blades:
  Slot 1: NMS CG6000C S/N=1107389834 REV=5894-B8 MSC0 PRC0
```

8112 シャーシで、このコマンド 出力はキャビネット型および 3 つの別々の電源を示します:

```
mtgplace:tech$ hwconfig
Cabinet: Motorola CPX8216T
Bus architecture: CompactPCI
Processor card: SMM5370LATUDE S/N=7644474
  Processor: Pentium III, Model 8, 700 MHz
  Memory: 512MB
  Temperature: 29C
  Voltages: 3.32V, 5.02V, 12.06V
Power Supplies:
  PS1: OK, fan is OK
  PS2: OK, fan is OK
  PS3: OK, fan is OK
SCSI Adapter: NCR 810
  DISK 1: 36000MB (SEAGATE ST373207LW REV=0005)
```

```
DISK 2: 36000MB (SEAGATE ST373207LW REV=0005)
Ethernet: Intel 8225x PCI 10/100 (0001af195607)
*** MAC Address ***
Modem: Absent or unrecognized
MultiAccess Blades:
  Slot 16: AC TP1610-4 S/N=1334228 REV=0 AC0
Smart Blades:
  Slot 1: NMS CG6000C S/N=1107389834 REV=5894-B8 MSC0 PRC0
```

8106 シャーシで、このコマンド 出力はキャビネット型および 1 電源 インジケータを示します:

```
mtgplace:tech$ hwconfig
Cabinet: Motorola CPX8216T
Bus architecture: CompactPCI
Processor card: SMM5370LATUDE S/N=7644474
  Processor: Pentium III, Model 8, 700 MHz
  Memory: 512MB
  Temperature: 29C
  Voltages: 3.32V, 5.02V, 12.06V
Power Supplies:
  PS1: OK, fan is OK
  PS2: OK, fan is OK
  PS3: OK, fan is OK
SCSI Adapter: NCR 810
  DISK 1: 36000MB (SEAGATE ST373207LW REV=0005)
  DISK 2: 36000MB (SEAGATE ST373207LW REV=0005)
Ethernet: Intel 8225x PCI 10/100 (0001af195607)
*** MAC Address ***
Modem: Absent or unrecognized
MultiAccess Blades:
  Slot 16: AC TP1610-4 S/N=1334228 REV=0 AC0
Smart Blades:
  Slot 1: NMS CG6000C S/N=1107389834 REV=5894-B8 MSC0 PRC0
```

LED 光識別

示すか何を、天面 LED のリストはここにあり:

- システム 稼働中-点滅させたとき、この光はシステムがインサービスであることを示します。
- アウト オブ サービス な コンポーネント-点滅させたとき、この光はアウト オブ サービス な コンポーネントがあることを示します。 [アラーム 表](#)をチェックして下さい。
- アウト オブ サービス な システム-点滅させたとき、この光はシステムがアウト オブ サービスであることを示します。この光は 8112 シャーシのレッドを点滅させます。
- Telco メジャー アラーム-点滅させたとき、この光はサービスに影響を与えるかもしれない Telco に問題があることを示します。 [アラーム 表](#)をチェックして下さい。
- Telco マイナー アラーム-点滅させたとき、この光はサービスに影響を与えない Telco 関連の問題にマイナー な問題があることを示します。 [アラーム 表](#)をチェックして下さい。
- Telco 重要なアラーム-この光は使用されません。

CLI にログインします。

CLI にこれらのステップ ログインを完了して下さい:

1. 可聴周波サーバに Telnet およびログインを使用して下さい。

ユーザ名が admin 常にあることを確認して下さい。ハード ドライブが交換される場合、

cisco であるデフォルトパスワードでシステムにアクセスする必要があるかもしれません。

2. パスワード コマンドで管理者 パスワードを変更して下さい:

```
mtgplace:tech$ passwd
Changing password for admin
Enter current password: cisco
Enter new password: cisco123
Retype new password: cisco123
```

3. 管理者ユーザ アカウントパスワードが失われる場合これらのステップを完了して下さい:

コンソールポートを通してまたは CPU カードに直接差し込まれるキーボードおよびモニタによって可聴周波サーバに接続して下さい。(詳細についてはこれについての[ラップトップコンピュータ](#) Cisco の 記事の[設定することを接続および参照](#)して下さい。) ユーザネームのためにプロンプト表示された場合、`pwreset` を入力して下さい。 管理者 パスワードはデフォルト `cisco` に今設定 されます:

```
Release 6.1.1, Jul 16, 2013user name: pwresetuser name: adminPassword: cisco
```

注: パスワードの回復は可聴周波サーバと接続するために Telnet かセキュア シェル (SSH) を使用するとはたらかしません。

ハード ディスク ドライブ

8112 および 8106 のハード ドライブについてのいくつかの注記はここにあります:

- MeetingPlace 8112 および 8106 シャーシに 2 つのハード ドライブがあります。
- ハード ドライブは MeetingPlace ソフトウェア、コンフィギュレーションの設定、ユーザおよび会議のような MeetingPlace のデータがすべてが、含まれています。
- データは他のハード ドライブに定期的にバックアップされたが、オペレーティング システム および MeetingPlace ソフトウェアは 1 つのアクティブなハード ドライブだけで動作します。

ディスク バックアップ

このセクションは MeetingPlace 2 シャーシのためのディスク バックアップ プロセスを説明します。 いくつかの注記はここにあります:

- データがアクティブなハード ドライブから非アクティブ ハード ドライブへのバックアップされたとき、プロセスはディスク バックアップと言われます。 ディスク バックアップがリモートまたはゲートウェイバックアップと同じではないことを理解しておくことは重要です。
- 自動ディスク バックアップが有効になる場合、アクティブ ハード ドライブはセカンダリ ハード ドライブにデータをデフォルトで 1時間に1度コピーします。
- ディスク バックアップを有効にし、データが 2 つのハード ドライブの間で一致するようにするために、`save` コマンドを入力して下さい。
- 2 つのハード ドライブはこれらの例外を除いて本質的に、映す必要があります:

会議 録音記録された Profile Name

注: これらは 2 枚のディスクの間でドライブが交換される場合分割されましたり、従って半分失われます。

- 自動ディスク バックアップが有効になるかどうか確認するために、`sysconfig` コマンド

を入力して下さい:

```
mtgplace:tech$ sysconfig
Root: 1a
Database: 1c
Temporary files: 2b
Prompts: 1f
Voice files: 1g
Voice files: 2g
```

The current configuration matches the saved configurationDisk backups are enabled
保存しない場合、最後の 2 つの行はとして示します:

```
The current configuration matches the saved configuration
WARNING: Disk backups are disabled. Run "save" to enable.
```

- ディスク バックアップのためのログを調べるためにこれらのステップを完了して下さい:

管理者ユーザとして可聴周波サーバに Telnet によって接続して下さい。SU を入力し、日のパスワードを入力して下さい。パスワード ユーティリティの日のパスワードを生成する必要があるかもしれません。cat /usr/adm/diskbackup.log を入力して下さい。バックアップ最後が発生したときに、そして正常示すこれは最新のディスク バックアップ ログです。前のディスク バックアップからのログを調べるために、cat /usr/adm/diskbackup.log.old を入力します。これが backup.log と MeetingPlace バックアップ ゲートウェイにリモート バックアップのためである同じではないことを確認することは重要です。

ディスクのパーティション

オペレーティング システムおよび MeetingPlace ソフトウェアはルート パーティションにある 1 つのアクティブなハード ドライブだけで動作します。データベースはアプリケーションの実行同じハード ドライブであるかもしれない別のパーティションで動作します。

ディスク バックアップが定期的に実行された場合アプリケーション (ルート) およびデータベース実行、およびハード ドライブをチェックするために sysconfig コマンドを入力して下さい:

```
mtgplace:tech$ sysconfig
Root: 1a
Database: 1c
Temporary files: 2b
Prompts: 1f
Voice files: 1g
Voice files: 2g
```

The current configuration matches the saved configurationDisk backups are enabled

MeetingPlace が最初の (上) ハードディスクの逃げることをパーティション文字 (1c、たとえば) の前の値 1 は示します。値 2 は第 2 (一番下) ハード ドライブを示します。

注: 音声ファイルは両方のハード ドライブで映らないので、常に保存されます。

保存し、戻して下さい

ここに保存についてのいくつかの注記はあり、プロセスを戻します:

- システムがダウンしている場合、データベース (DB) をすぐに保存するオプションがあります (保存-d)。
- システムが稼働している場合、登録簿だけおよびプロンプトがすぐに保存されます、および他は規則的な予定された時間 (時間以降の 10 分) に保存されます。
- 各ソフトウェアアップグレードに関しては、自動です無効保存します。サーバが 1 週間安定した動作した後、**save コマンド**を入力して下さい。
- もし必要なら、**戻コマンド** (戻の後で保存して下さい) で前のバージョンに戻ることができません。
- ディスクバックアップが有効になるかどうか確認するために **sysconfig** コマンドを入力して下さい。

戻して下さい

MeetingPlace を別のハードディスクに起動するために強制するために戻コマンドを入力して下さい。システムはダウンの状態に最初にある必要があります。これを確認するために、**down** コマンドを入力して下さい:

```
mtgplace:csc$ down
Are you sure (y/n)? y
Checking to see if the system is loaded...
The System Integrity Manager is not running.
The system is already down.
The system is DOWN.

mtgplace:csc$ revert
Root file system options:
 1) Disk 1 part "a" Rel 6.0.4 Wed Sep 5 09:45:34 2008 (current)
 2) Disk 2 part "a" Rel 6.0.2 Wed Jun 4 09:36:26 2008
 q) Quit
Choice? [q] 2
The root file system will be switched

Database file system options:
 1) Disk 1 part "c" Rel 6.0.4 (DB=6.0.0) 09:45:34 2008 (current)
 2) Disk 2 part "c" Rel 6.0.2 (DB=6.0.0) 09:36:26 2008
 3) Disk 2 part "e" Rel 6.0.2 (DB=6.0.0) 09:36:26 2008
Choice? [q]2
The database file system will be switched
You have selected a different database file system (2e)

Proceed (y/[n])? y
DONE
NOTE: Changes take effect after the next restart
mtgplace:csc$ restart enable
Are you sure (y/n)? y
```

ブートプロセス

いくつかの注記はブートプロセスを理解するのに助けるためにここにあります:

- MeetingPlace 8112 および 8106 シャーシは起動するためのハードドライブが一番下のスロット (2) スロットなければなりません。
- システムがどちらかからの一番下のスロットのハードドライブを、システム負荷オペレーティングシステムおよび MeetingPlace ソフトウェア 2 つのハードドライブの 1 つ検出する

後。

オペレーティング システム、MeetingPlace ソフトウェアおよび DB がロードされるハード ドライブを示すために **sysconfig** コマンドを入力して下さい。オペレーティング システム、MeetingPlace ソフトウェアおよび DB ロード ハード ドライブを変更するために戻コマンドを入力して下さい。

注: それらが実際にロードされるまでオペレーティング システム、MeetingPlace ソフトウェアおよび DB ロード ハード ドライブを判別できません。

- トップ スロット (1) スロット、サーバ負荷にハード ドライブが一番下ハード ドライブからのオペレーティング システム、MeetingPlace ソフトウェアおよび DB なければ。
- 一番下の スロット (2) スロット、なければサーバにハード ドライブが起動しません。

トラブルシューティング

システムがダウンし、起動することができない場合もっとも一般的な問題はハード ドライブの 1 つのハードウェア障害です。不良なハード ドライブを識別するために、これらの問題があるように確認して下さい:

- システム電源は、しかし起動しません。
- 絶えずサーバ リブート。
- コンソール ログがありません、またはコンソールに奇妙なエラーがあります。
- これと同じようなエラーメッセージがあります:
Command: <sdncr.1a/lynx.os>cannot open device sdncr.1a
- いろいろなエラーから識別されるディスク 破損があります。

alarm コマンドを入力し、最近のエラーがあるかどうか RAIMA が fsopenfile.cc と点検して下さい。8112 シャーシでレッド システム アウト オブ サービス な LED 表示。

注: 約アラームについてのその他の情報に関しては、[-アラーム技術情報についての... Cisco Unified MeetingPlace リリース 6.1](#) を参照して下さい。

ハードディスクを取り替え、システムを回復しなかったら、カード、ブレードおよび電力関係の問題を解決し続けて下さい。

不良なハード ドライブを見つけて下さい

不良なハード ドライブを識別するためにこれら二つの手順を使用して下さい。

手順 1

1. MeetingPlace サーバを消して下さい。
2. ドライブ 1 を取除いて下さい (ドライブを越えて下さい)。
3. MeetingPlace サーバをつけて下さい。

システムは 2. を駆動するために起動することを試みます。このプロセスはドライブ 1 が問題である場合はたつきません。MeetingPlace は一番下ドライブ (2) ドライブに常に起動します。一番下の スロットにハード ドライブがない場合、システムは起動しません。ただし、ブートが

、その他のハードドライブの MeetingPlace DB ロード、オペレーティング システムおよびソフトウェアを実行するかもしれません後。

手順 2

前の手順がはたらかない場合、これらのステップを完了して下さい:

1. MeetingPlace サーバを消して下さい。
2. 両方のドライブを取除いて下さい。
3. それはドライブ 2 になり、SCSI ID 1.があるようにドライブ 1 のための小型 コンピュータ システム インターフェイス (SCSI) ID を割当て直して下さい (8112 シャーシだけのために。)
4. 下部の権限スロット (2) ドライブに前のドライブ 1 のプラグを差し込んで下さい。右上スロット (空ドライブを 1) 残して下さい。
5. MeetingPlace サーバをつけて下さい。このプロセスはドライブ 2 が問題である場合はたきます。

MeetingPlace のための SCSI ID 8112 のシャーシ ハード ドライブ

8106 シャーシに SCSI ID がないが MeetingPlace 8112 シャーシのためのハード ドライブに正しく設定する必要がある SCSI ID があります。ゼロに SCSI ID が設定されているとファクトリからのすべてのディスク ドライブは提供された。

上のハードドライブ (ドライブは 1) SCSI ID 0 です。この SCSI ID を回すために使用する下部のハードドライブ (ドライブは 2) SCSI ID 1.置換 ハード ドライブ含む必要がありますツールをです。ただし、またこのダイヤルを回すためにキー、硬貨、スクリュードライバー、または指の爪を使用するかもしれません。

壊れるディスク ドライブを交換して下さい

このセクションは以前に記述されている MeetingPlace シャーシのどちらかの壊れるディスク ドライブを交換するために使用されるプロセスを説明します。

MeetingPlace 8106 シャーシ

8106 シャーシの壊れるディスク ドライブを交換するためにこれらのステップを完了して下さい:

注: [Cisco Unified MeetingPlace 8106 Cisco の 記事におけるハードディスク 交換手順](#)を詳細については参照して下さい。

1. ネジを取り外すためにシャーシにディスク ドライブを保護する十字ねじ回しを使用して下さい。このネジはディスク ドライブの先頭左エリアにあります。
2. 受けとるメカニズムのネジをゆるめるために十字ねじ回しを使用して下さい (レッド タブ

- の右へ)。受けとるメカニズムはディスクドライブの先頭権限エリアにあります。
3. 受けとるメカニズムの中のレッドタブを押し、黒いハンドルを引き出して下さい。ディスクドライブはドライブベイのコネクタからぼんと鳴ります。
 4. ドライブベイからディスクドライブを滑らせて下さい。
 5. 新しいディスクドライブを再挿入するとき、滑る必要があるスライド柵があります。

注: 8106 シャーシのための SCSI ID がありません。

MeetingPlace 8112 シャーシ

注: [Cisco Unified MeetingPlace 8112](#) Cisco の記事 [におけるハードディスク交換手順](#)を詳細については参照して下さい。

8112 シャーシのディスクドライブのための2つの異なる形式ファクタがあります: より新しい形式要素に先頭で錠機構システムがあるが、元の形式ファクタに先頭で黄銅色のキーがあります:

インストールされているディスクドライブ形式要素の種類を判別するために MeetingPlace 8112 オーディオサーバの先頭を点検して下さい。

製造変更が原因で、MeetingPlace 8112 オーディオサーバのためのディスクドライブは 8112 シャーシにもはやちょうど滑らない新しいキャリアを使用するようになります。MeetingPlace 8112 オーディオサーバのための新しい置換ディスク・ドライブはより新しい形式要素という結果に終わります。

MeetingPlace 8112 オーディオサーバシャーシが含まなければ元の形式ファクタは、黄銅色のキーと追加操作なしで、置換ディスクドライブ合わないかもしれません。追加手順は [8112 オーディオサーバ置換ドライブガイド](#) PDF の内で記載されています。

Return Material Authorization (RMA) がハードドライブ置換用の Cisco と開くとき、サービス技術員 (FE) がこのプロシージャを行うのに必要とされる部品と急派されることが必要となります。Cisco Technical Assistance Center (TAC) は彼らに正しい情報があることを確認するために Cisco FE がオンサイトリソースに [8112 オーディオサーバ置換ドライブガイド](#) 資料を送信する必要があるかもしれません。

8112 シャーシが含まなければ元の形式ファクタおよび置換ディスクドライブはまた元の形式ファクタが含まれています:

1. 黄銅色のキーを、ディスクドライブの左上のエリアで押し、それを4分の1の回転左回りに回して下さい。これはドライブベイからのディスクドライブをリリースします。
2. ドライブベイからディスクドライブを滑らせて下さい。

注: これは黄色いダイヤルであり小さいスクリュードライバーかキーによってこれを変更できるはずです。

上のドライブに SCSI ID 0 があり、下部のドライブに SCSI ID 1.があります。

追加ステップを解決して下さい

システムが新しいディスク ドライブを検出するようにするために hwconfig コマンドを入力して下さい。

```
mtgplace:tech$ hwconfig
Cabinet: Motorola CPX8216T
Bus architecture: CompactPCI
Processor card: SMM5370LATUDE S/N=7644474
  Processor: Pentium III, Model 8, 700 MHz
  Memory: 512MB
  Temperature: 29C
  Voltages: 3.32V, 5.02V, 12.06V
Power Supplies:
  PS1: OK, fan is OK
  PS2: OK, fan is OK
  PS3: OK, fan is OK
SCSI Adapter: NCR 810
  DISK 1:          36000MB (SEAGATE ST373207LW          REV=0005)
  DISK 2: 36000MB (SEAGATE ST373207LW REV=0005)
Ethernet: Intel 8225x PCI 10/100 (0001af195607)
  *** MAC Address ***
Modem: Absent or unrecognized
MultiAccess Blades:
  Slot 16: AC TP1610-4 S/N=1334228 REV=0 AC0
Smart Blades:
  Slot 1: NMS CG6000C S/N=1107389834 REV=5894-B8 MSC0 PRC0
```

すべてのモジュールが首尾よく開始する場合 MeetingPlace バージョンを確認するために **swstatus** コマンドを入力すれば。システムがアップするある間、このコマンドを定期的に使用できます。それはすべてのモジュールのための 15 分程開始するためにかかるかもしれません。

```
mtgplace:tech$ swstatus
Conference server 6.0.4 S/N:
System status: Operating
System mode: Coming up
Temperature: Unknown
Power supply: OK

MODULE NAME STATUS VERSION
SIM UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"
LSH UP "09/29/08 06:14 MPBUILD-R6_0_4_4"
SNMPD UP "09/29/08 06:55 MPBUILD-R6_0_4_4"
DBSERVER UP "09/29/08 06:19 MPBUILD-R6_0_4_4"
DBQSERVER UP "09/29/08 06:19 MPBUILD-R6_0_4_4"
POSERVER DOWN "09/29/08 06:31 MPBUILD-R6_0_4_4"
CPSERVER DOWN "09/29/08 06:29 MPBUILD-R6_0_4_4"
CONFSCHED DOWN "09/29/08 06:37 MPBUILD-R6_0_4_4"
WSSERVER DOWN "09/29/08 06:39 MPBUILD-R6_0_4_4"
VOICESERVER DOWN "09/29/08 06:50 MPBUILD-R6_0_4_4"
GWSIMMGR DOWN "09/29/08 07:03 MPBUILD-R6_0_4_4"
```

```
mtgplace:tech$ swstatus
Conference server 6.0.4 S/N:
System status: Operating
System mode: Up
Temperature: 41
Power supply: OK

MODULE NAME STATUS VERSION
SIM UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"
LSH UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"
```

```
SNMPD UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
DBQSERVER UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
DBSERVER UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
POSERVER UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
CPSERVER UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
CONFSCHED UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
WSSERVER UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
VOICESERVER UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"  
GWSIMMGR UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"
```

```
UNIT SITE STATUS RUN LEVEL UNIT KIND LAST ATTACH  
16 0 OK UP GATEWAY 07/10/13 11:00:15  
17 0 OK UP GATEWAY 07/10/13 11:01:11  
18 0 OK UP GATEWAY 07/10/13 11:01:08
```

1つのハードドライブが交換される場合、システムは古いハードドライブの代りに新しいハードドライブに起動するかもしれません。ユーザおよび会議が保たれたかどうか確認するために MeetingPlace によって可聴周波サーバに接続して下さい。新しいバージョンが前のバージョンと一致するかどうか確認するために **swstatuscommand** を入力して下さい。

可聴周波サーバが間違ったハードドライブに起動すれば:

- MeetingPlace すべてのサービスをシャットダウンするために **down** コマンドを入力して下さい。
- 他のハードドライブに起動するために **戻** コマンドを入力して下さい。
- ルート ファイル システムおよび DB のためのブート選択を入力して下さい。
- サーバを再起動するために **再始動 enable** コマンドを入力して下さい。

```
mtgplace:csc$ down  
Are you sure (y/n)? y  
Checking to see if the system is loaded...  
The System Integrity Manager is not running.  
The system is already down.  
The system is DOWN.  
  
mtgplace:csc$ revert  
Root file system options:  
1) Disk 1 part "a" Rel 6.0.4 Wed Sep 5 09:45:34 2008 (current)  
2) Disk 2 part "a" Rel 6.0.2 Wed Jun 4 09:36:26 2008  
q) QuitChoice? [q] 2  
The root file system will be switched  
  
Database file system options:  
1) Disk 1 part "c" Rel 6.0.4 (DB=6.0.0) 09:45:34 2008 (current)  
2) Disk 2 part "c" Rel 6.0.2 (DB=6.0.0) 09:36:26 2008  
3) Disk 2 part "e" Rel 6.0.2 (DB=6.0.0) 09:36:26 2008  
Choice? [q]2  
The database file system will be switched  
You have selected a different database file system (2e)  
  
Proceed (y/[n])? y  
DONE  
NOTE: Changes take effect after the next restart  
mtgplace:csc$ restart enable  
Are you sure (y/n)? y
```

それらは現在のアクティブパーティションまたはハードドライブであることを示す DB 選択として (電流) 示します、およびルート ファイル システムは。別のハードディスクに起動するためにそれぞれのための異なるパーティションを選択して下さい。

ディスクが両方とも取り替えられるかまたはすべてのデータが失われたら、DB バックアップを、もし可能であれば復元する。MeetingPlace バックアップ ゲートウェイからのデータを復元するために **restore** コマンドを入力して下さい。

注: MeetingPlace 可聴周波サーバのデータを復元するとき、可聴周波サーババージョンはバックアップが奪取されたときと同じバージョンである必要があります。ハードドライブが両方とも交換された場合、前のシステムの同じバージョンに MeetingPlace 可聴周波サーバソフトウェアをアップグレードする必要があるかもしれません。

更に詳しい情報についてはこれらの文書を参照して下さい:

- [Cisco Unified MeetingPlace、リリース 6.x ---- 可聴周波サーバソフトウェアのインストール手順およびアップグレードします](#)
- [バックアップファイルからのデータを復元するについて- Cisco Unified MeetingPlace、リリース 6.x ---- バックアップおよびデータを復元する Cisco Unified MeetingPlace ネットワークバックアップゲートウェイを使用しています](#)
- [バックアップファイル例からの Cisco Unified MeetingPlace システム データを復元する- Cisco Unified MeetingPlace、リリース 6.x ---- バックアップおよびデータを復元する Cisco Unified MeetingPlace ネットワークバックアップゲートウェイを使用しています](#)

```
mtgplace: tech$ gwstatus
Gateway SIM Status/Mon Dec 1 16:45:22 2003

-----
Remote Units
Unit 16 Severname 2 v5.2.0.13 Ok 12/01/03 16:45:20
Unit 17 Severname 2 v5.2.0.13 Ok 12/01/03 16:44:57
Unit 18 Severname 2 v5.2.0.14 Ok 12/01/03 16:45:15
Gateways:
Unit 16 IP Gateway v5.2.0.12 Ok 12/01/03 07:56:50
Unit 16 MPBackup v5.2.0.5 Ok 12/01/03 16:45:14
Unit 17 DataConf:GCC v4.3.0.100 Ok 12/01/03 16:44:56
Unit 17 DataConf:GW v4.3.0.100 Ok 12/01/03 16:44:20
...
Unit 18 MPBackup v5.2.0.5 Ok 12/01/03 16:45:03
```

swstatus コマンドで確認することができる MeetingPlace モジュールがすべて開始する場合バックアップゲートウェイからしか復元することができません。

この例では、ネットワークドライブにある、**y** は入ります **restore** コマンドは入力されず復元プロセスを始めるために、**2** はファイルから復元するために選択され:

```
MPServer: tech$ restore
Restore database from?
1) Local file
2) Remote file
q) (Quit Restore)
Enter choice: 2
Remote source if from a remote file
restore.gateway: started
Thu Oct 23 18:20:23 PDT 2003
restore.gateway will bring down the MeetingPlace applications and
OVERWRITE the current contents of the database.
First step: just copy the backup files to this server?
Proceed (y/[n])? y
restore.gateway: detailed output is saved in /usr/adm/restore.log
for reference
```

この出力例は選択するため、**ユニット 19** および **ユニット 21** から 2 つのバックアップゲートウ

エイサーバがあることを示します:

Available units for backup:

1) **unit 19**

2) **unit 21**

Pick an available gateway

Enter choice [1-2]:

バックアップゲートウェイサーバが選択された後、利用可能なバックアップファイルのリストは現われます:

Available units for backup:

1) **unit 19**

2) **unit 21**

Pick an available gateway

Enter choice [1-2]:

次の例が示すと同時にバックアッププロセスを完了するために、システムはダウンする必要があります:

Available units for backup:

1) **unit 19**

2) **unit 21**

Pick an available gateway

Enter choice [1-2]:

1つのハードドライブを交換した後、会議に加わるとき名前を rerecord ならないかもしれませんが。記録物またはレコード名における問題に直面し続ける場合-f コマンド **vfptrfix** を入力する必要があります。

またシステムは記録領域からあることを告げるエラーメッセージを受け取るかもしれません。これが事実である場合、DB を復元する、およびもはや存在するか、または部分的に存在だけ記録すること完了しないで下さい記録物に順序修正のこのプロセスをポインタ:

1. 少なくとも 2 時間 Maintenance ウィンドウをスケジュールして下さい。
2. **su** コマンドを入力して下さい。
3. 日のパスワードを入力して下さい。
4. **down** コマンドを入力して下さい。
5. **vfptrfix** を **-f -v** コマンド入力して下さい。
6. 再始動 **enable** コマンドを入力して下さい。

```
mtgplace:csc$ down
```

```
Are you sure (y/n)? y
```

```
Checking to see if the system is loaded...OK System DOWN procedure hasbeen initiated.
```

```
The system is DOWN.
```

```
mtgplace:csc$ vfptrfix -f -v
```

```
Running vfptrfix...
```

```
Initializing the file system...
```

```
Getting the disk configuration status...
```

```
Checking file system internal consistency...(may take a while)...
```

```
Checking voice file pointers in database...
```

```
CsConf *Processed 451 Conferences* - CsConfPart&& *Processed 14547 Conf part*
```

```
- CsConfAtt&# *Processed 216 Conf Attachments* - CsUser&#&& *Processed 1260 Users* - CsPrompt& *Processed 7853 Prompts* - CsTimeZone *Processed 319
```

```
Time zones* - CsCAPrompt *Processed 25 FlexMenuCAPrompt* - CsUserList *Processed
```

```
29 UserList* - CsRemoteServer *Processed 14 RS* -
```

```
Checking file system validation status...
```

```
Committing the changes to the database...
```

```
mtgplace:csc$ restart enable
```

```
Are you sure (y/n)? y
```

このエラーメッセージを受け取るかもしれません:

```
ERROR: Invalid disk label / CPU combination
```

```
BOOT disk = 0001af0d981b; ALT disk = INVALID; CPU = 0001af127478
```

```
ERROR: Disk mount failed; manual intervention required
```

MeetingPlace のより古いバージョンでは、1 ドライブだけを挿入する場合 `/.label` ファイルを削除する必要があるかもしれません (これはよくありません)。ファイルを削除するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Telnet によって `admin` として可聴周波サーバに接続して下さい。
2. `su` コマンドを入力し、日のパスワードを入力して下さい。
3. プロンプト表示された場合 `RM /.label` および `y` を入力して下さい。

ブレード/ライン カード

このセクションはさまざまなブレードおよびラインカードを説明します。

CPU カード

可聴周波サーバが機能することができるように CPU カードが必要となります。それはサーバを維持し、設定するために使用するイーサネット接続が含まれています。CPU カードに自身の IP アドレスがありません MeetingPlace MeetingTime、Telnet アクセスおよびゲートウェイサーバにそれを接続するために使用される。

正面図はここにあります:

背部ビューはここにあります:

CPU カードを取り替える場合、新しいライセンスを得て下さい。ライセンスは CPU カードのイーサネットポートの MAC アドレスに結合されます。完全なシャーシが RMA と交換される場合、置換 CPU カードが付いています。

不良な CPU カードを識別して下さい

不良な CPU カードを識別するように試みる前にハード ドライブが間違っていたかどうか最初に確認して下さい。ハード ドライブ 回復手順によって進歩した後、これらの問題は不良な CPU カードを示すかもしれません:

- コンソールまたはモニタ ポートから出力がありません。
- サーバは起動しません。
- イーサネットポートはスイッチの速度 および デュプレックスをチェックした後応答しません。
- コンソールポートは応答しません。

CPU カードを取り替えて下さい

注: より多くの詳細な手順に関しては、[Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ](#) Cisco の記事 [における CPU 交換手順](#)を参照して下さい。

不良な CPU カードを取り替えるために使用する一般手順はここにあります:

1. もし可能なら、古い CPU カードの MAC アドレスを得て下さい; `getether` コマンドを入力するか、または前のライセンス ファイルを取付けて下さい。
2. すべてのネットワーク、モデムおよび SCSI ケーブルを取除いて下さい。
3. サーバの電源を切して下さい。
4. CPU カード先頭および背部を取り替えて下さい。
5. すべてのネットワーク、モデムおよび SCSI ケーブルを再接続して下さい。
6. 電源投入 システム。
7. 新しいソフトウェア ライセンスを得、インストールして下さい。

CPU カードを取り替えた後、新しい置換 CPU カードのためのライセンスキーをインストールして下さい。すべてのソフトウェアオプションは CPU カードのユニークなイーサネットの MAC アドレスのキー入力されます。CPU カードの MAC アドレスを得るために、`getether` コマンドを入力して下さい。認可 TAC チームを通して生成されるべき新しいライセンスのための要求。

```
mtgplace:tech$ getether  
0001af666607
```

新しいソフトウェア ライセンスをインストールするとき、Cisco は MeetingTime でライセンスキーをそれぞれロードすることを推奨します。これは **>** 鍵が押されるとすぐライセンスが有効であることを確認します。新しいキーがインストールされていた後、**再始動** `enable` コマンドでシステムを再始動して下さい。

注: [Cisco Unified MeetingPlace を、リリース 6.x](#) 参照して下さい ---- 追加詳細については [ロードライセンスキー技術情報について](#)

Network Interface Cards (NIC) 設定

可聴周波サーバのイーサネットポートの速度 および デュプレックス設定はハード設定し、変更することができませんあります。適切な速度 および デュプレックス設定は接続されたスイッチポートで行う必要があります:

- CPU カードに関しては、設定は **オート/自動**、それぞれです。
- MA ブレードに関しては、設定は **100/full**、それぞれです。

MA ブレード

MA ブレードの例はここにあります:

MA ブレードについてのいくつかの注記はここにあります:

- MA ブレードは **ブレード** および `hwconfig` コマンド 出力の TP1610 が TP1610-4 として現われます。

MA-16 バージョン (TP1610) に 16 のスパンおよび 480 までの IP ポートがあります。MA-4 バージョン (TP1610-4) に 4 つのスパンおよび 120 までの IP ポートがあります。

- T1 PRI および E1 は MA-4 ブレードの第 2 (9-16) コネクタを使用します。
- 、最高で、81xx システムに対して 2 つの MA ブレードがあります。
- MA ブレードはまだ会議のためにスマートなブレードを必要とします。
- MA ブレードは 240 の IP ポート毎に 1 IP アドレスを要求します。

不良な MA ブレードを識別して下さい

不良な MA ブレードを識別するように試みる前にハード ドライブが間違っていたかどうか最初に確認して下さい。MeetingPlace 可聴周波サーバが **swstatus** コマンド 出力に示すように十分に起動しない場合、不良な MA ブレードを示すかもしれません。これが事実である場合、これらのステップを完了して下さい:

- 可聴周波サーバの電源を切って下さい。
- すべての MA ブレードおよびスマートなブレード (CPU カードはまだ接続する必要があるため) のために先頭を取除けば。
- 可聴周波サーバの電源は、すべてのサービスがきちんと開始するかどうか見。
- すべてのサービスがきちんと開始する場合、サーバの電源を切り、ブレードを一つずつ再挿入して下さい。
- MA ブレードが再挿入された後サービスが開始しなかったら、ブレード コマンドによってブレードおよびポートを再構成するように試みて下さい (追加手順が詳細については区分するのを参照して下さい)。これは再始動 **enable** コマンドでサーバの別の再始動を必要とします。
- サービスがそれでも開始しない場合、これは不良な MA ブレードを示します。

```
mtgplace:tech$ swstatus
Conference server 6.0.4 S/N: not set
System status: Operating
System mode: Coming up
Temperature: Unknown
Power supply: OK
```

```
MODULE NAME STATUS VERSION
SIM UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"
LSH UP "09/29/08 06:14 MPBUILD-R6_0_4_4"
SNMPD UP "09/29/08 06:55 MPBUILD-R6_0_4_4"
DBSERVER UP "09/29/08 06:19 MPBUILD-R6_0_4_4"
DBQSERVER UP "09/29/08 06:19 MPBUILD-R6_0_4_4"
POSERVER DOWN "09/29/08 06:31 MPBUILD-R6_0_4_4"
CPSERVER DOWN "09/29/08 06:29 MPBUILD-R6_0_4_4"
CONFSCHED DOWN "09/29/08 06:37 MPBUILD-R6_0_4_4"
WSSERVER DOWN "09/29/08 06:39 MPBUILD-R6_0_4_4"
VOICESERVER DOWN "09/29/08 06:50 MPBUILD-R6_0_4_4"
GWSIMMGR DOWN "09/29/08 07:03 MPBUILD-R6_0_4_4"
```

これはまたサービス (特に CPSEVER) の 1 つを開始している間スタックするかもしれません:

```
mtgplace:tech$ swstatus
Conference server 6.0.4 S/N: not set
System status: Operating
System mode: Coming up
Temperature: Unknown
Power supply: OK
```

```
MODULE NAME STATUS VERSION
SIM UP "09/29/08 06:38 MPBUILD-R6_0_4_4"
LSH UP "09/29/08 06:14 MPBUILD-R6_0_4_4"
SNMPD UP "09/29/08 06:55 MPBUILD-R6_0_4_4"
DBSERVER UP "09/29/08 06:19 MPBUILD-R6_0_4_4"
DBQSERVER UP "09/29/08 06:19 MPBUILD-R6_0_4_4"
POSERVER DOWN "09/29/08 06:31 MPBUILD-R6_0_4_4"
CPSERVER DOWN "09/29/08 06:29 MPBUILD-R6_0_4_4"
CONFSCHEM DOWN "09/29/08 06:37 MPBUILD-R6_0_4_4"
WSSERVER DOWN "09/29/08 06:39 MPBUILD-R6_0_4_4"
VOICESERVER DOWN "09/29/08 06:50 MPBUILD-R6_0_4_4"
GWSIMMGR DOWN "09/29/08 07:03 MPBUILD-R6_0_4_4"
```

スイッチポート設定を確認した後 MeetingPlace の継続的だった VoIP 接続があれば、速度 および デュプレックス設定を調節しなければならないかもしれません。MA ブレードのイーサネットポートの速度 および デュプレックス設定はハード設定し、変更することができません; 適切な速度 および デュプレックス設定は接続されたスイッチポートで行う必要があります。MA ブレードに関しては、設定はそれぞれ 100/full であるはずで

MA ブレードを取り替えて下さい

MA ブレードを取り替える方法についての情報の [Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ Cisco の 記事におけるブレード 交換手順](#)を参照して下さい。

追加手順

すべての MA ブレードおよびスマートなブレードがのために取除かれたら目的を、ブレード コマンドによってすべてのブレード/ポートコンフィギュレーションを取除く必要があるかもしれません解決して下さい: ブレード コマンドを入力し、次に各ブレードを取除くために修正する ブレードを入力して下さい。 リストされている最初の MA ブレードから始めて下さい。

型を入力するためにプロンプト表示された場合ワードをどれも入力しないで下さい。

```
mtgplace:tech$ blade
```

```
Slot Card Type CardId Ports
---- ---- -
1 CG6000C SB 0
2 no card
3 no card
4 no card
5 no card
6 no card
11 no card
12 no card
13 no card
14 no card
15 no card
16 TP1610-4 IP 0 0-94 (10.86.76.191)
```

```
***** B L A D E C O N F I G M E N U *****
```

- 1) View blade details
- 2) **Modify blade**
- x) Exit program

```
Enter command: 2
```

Enter blade slot [1..16]: 16

Type [IP]: **none**

Slot Card Type CardId Ports

1 CG6000C SB 0
2 no card
3 no card
4 no card
5 no card
6 no card
11 no card
12 no card
13 no card
14 no card
15 no card
16 TP1610-4

***** B L A D E C O N F I G M E N U *****

- 1) View blade details
- 2) **Modify blade**
- x) Exit program

Enter command: 2

Enter blade slot [1..16]: 1

Type [SB]: **none**

Slot Card Type CardId Ports

1 CG6000C
2 no card
3 no card
4 no card
5 no card
6 no card
11 no card
12 no card
13 no card
14 no card
15 no card
16 TP1610-4

***** B L A D E C O N F I G M E N U *****

- 1) View blade details
- 2) **Modify blade**
- x) Exit program

Enter command: x

Restart the system for any changes to take effect

mtgplace:tech\$ **restart enable**

MA ブレードが両方のハードドライブの後で、ポートを再構成する必要があるかもしれません取り替えられます。システムはブレードおよびポートコンフィギュレーションが一致するか、または電流 MA ブレードおよびスマートなブレード ハードウェアを超過すればきちんと起動しないかもしれません。たとえば 120 のポートが設定されればが、96 のポートが可能なたった 1 つのスマートなブレードが CPSEVER モジュール開始しないかもしれませんあります。

注: 追加詳細については、[Cisco Unified MeetingPlace を、リリース 6.x 参照して下さい](#) ----

[ブレード技術情報の設定について。](#)

ブレード 設定コマンド

有用なブレード 設定コマンドのリストはここにあります:

- ブレード **-i96 -t96** - 6 ポート IP のブレードを設定するためにこのコマンドおよび 96 ポート T1 システムを入力して下さい。:
- ブレード **-i96 -e96** - 96 ポート IP のブレードを設定するためにこのコマンドおよび 96 ポート E1 システムを入力して下さい。
- ブレード **-t96 -r1 -r2** - 96 ポート T1 システムのブレードを設定するためにこのコマンドを入力して下さい (これはより遅いプロビジョニングのためのスロット 1 および 2 を予約します)。

ポートを自動的に設定した後、MA ブレードの設定を終了して下さい:

```
mtgplace:tech$ blade -i 120
This will reset many DB tables, are you sure? (y/n): y
```

```
Configuring 96 IP ports
```

```
Restart the system for changes to take effect
```

```
mtgplace:tech$ blade
```

```
Slot Card Type CardId Ports
-----
1 CG6000C SB 0
2 CG6000C SB 1
3 no card
4 no card
5 no card
6 TP1610 IP 0 0-119 (No IP address)
```

```
***** B L A D E C O N F I G M E N U *****
```

```
1) View blade details
2) Modify blade
x) Exit program
```

```
Enter command: 2
```

```
Enter blade slot [1..6]: 6
```

```
Type [IP]:
Card type [TP1610]:
Port Group [ 1]:
Number of Ports [ 96]:
1st Port [ 0]:
IP Address [0] [0.0.0.0]: 14.114.2.3
IP Address [1] [0.0.0.0]:
Subnet Mask [0.0.0.0]: 255.255.255.0
Default Gateway [0.0.0.0]: 14.114.2.1
Base UDP Port [0] [16390]:
Base UDP Port [1] [16390]:
Jitter Buffer Minimum Size [100]:
Jitter Buffer Optimization [ 7]:
IP Precedence [0]: unused
Type of Service (TOS) [ 0]: unused
```

```
DSCP / DiffServ [unused]: 46
RTCP Interval [default]:
```

```
Slot Card Type CardId Ports
```

```
-----
```

```
1 CG6000C SB 0
2 CG6000C
3 no card
4 no card
5 no card
6 TP1610 IP 0 0-119 (14.114.2.3)
```

```
***** B L A D E C O N F I G M E N U *****
```

```
1) View blade details
2) Modify blade
x) Exit program
```

```
Enter command: x
```

```
Restart the system for any changes to take effectmtgplace:tech$ restart enable
```

MA ブレードを設定する間、このメッセージを受け取るかもしれません:

```
***** B L A D E C O N F I G M E N U *****
```

```
1) View blade details
2) Modify blade
x) Exit program
```

```
Enter command: 2
```

```
Enter blade slot [1..6]: 6
```

```
Type [IP]:
```

```
Card type [TP1610-4]:
```

```
** Warning: Configured value does not match card type installed (TP1610)
```

```
** Hardware needs to match configuration before next restart, or else
```

```
** system will fail to come up.
```

このメッセージを受け取る場合、手動でカードタイプのための TP1610 を入力して下さい。これがシャドウサーバである場合、新しいブレードを設定する前にスタンドアロンにそれを変換して下さい。

注: すべてのブレード コンフィギュレーション変更は再始動 enable コマンドによって実施されるために再始動が要求します。

ハードドライブか MA ブレードが取り替えられ、ブレードが再構成される後、MeetingTime でポートコンフィギュレーションを入力する必要があるかもしれません。ポートコンフィギュレーションを入力するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. MeetingTime を開き、登録証をクリックして下さい。
2. **Configure** タブにナビゲートし、設定を『Server』をクリックして下さい。
3. これらの設定が認可されたポートを一致する確認し、ことを必要ならば編集して下さい:

アクセスポート (accessports) 会議ポート (confports) 完全な Web 会議ポート (dataconf)

4. 変更のために実施される再始動 enable コマンドによってサーバを再起動して下さい。

スマートなブレード

スマートなブレードの例はここにありますが:

注: イメージは旧式です; このカードのイーサネットポートはもはや使用されません。

スマートなブレードについてのいくつかの注記はここにありますが:

- スマートなブレードはブレードおよび `hwconfig` コマンド 出力の `NMS CG6000C` として現われます。
- 物理的な デジタル信号プロセッサ (DSP) はスマートなブレードに常駐します。
- 各カードに 96 のポートがあります。
- スマートなブレード インターフェイスは T1-Channel 対応シグナリング (CAS) 接続だけをサポートします。

不良でスマートなブレードを識別して下さい

特定のポートでスタティックが無音に一貫して注意する場合、これはスマートなブレードのハードウェア障害を示すかもしれません。通常各 DSP のための 8 つのポートがあるので、8 つか 4 つのポートに続けて問題があります。

スマートなブレードを取り替えて下さい

不良でスマートなブレードを取り替えるために、[Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ](#) Cisco の [記事におけるブレード 交換手順](#)を参照して下さい。

パワー 問題

このセクションはヒューズ、電源およびファントレイによって直面するかもしれないパワー 問題を記述します。

ヒューズ

サーバが電源投入まったくし、LED 光が点滅しなければ場合、これは膨らんだヒューズを示します。ヒューズ RMA のための部品番号がありません、従って RMA 全体のシャーシになります。

ただし、RADIO SHACK のようなローカル電子工学ストアで新しいヒューズを、購入できます。Cisco Unified MeetingPlace 8106 シャーシ使用 24 AMP、250-volt、0.25 インチ直径を備え、長く 1.25 インチである AGC 型ヒューズ。追加詳細の [Cisco Unified MeetingPlace 8106](#) Cisco の [記事におけるヒューズ交換手順](#)を参照して下さい。

電源モジュール

電源問題を識別するために、焼き付けられた臭いか煙があるように確認して下さい。タバコを吸か焼き付けることを識別する場合、シャーシをすぐに消して下さい、すべてのコンポーネントへの物理的な被害があるかどうか点検して下さい。両側のシャーシのバックプレーンをチェックして下さい。

不良な電源はまたアラームまたは電源の赤のLEDランプ光によって示されるかもしれません。8112 シャーシに `hwconfig` コマンド 出力に現われる 3 つの電源があります。8106 シャーシに 2 つの電源がありますが、`hwconfig` コマンド 出力の 1 つとして現われます。 [Cisco Unified MeetingPlace 8112 における電源装置 交換手順](#) が追加詳細の [Cisco Unified MeetingPlace 8106 技術情報における電源装置 交換手順](#) を参照して下さい。

ファントレイ

不良なファントレイはアラームまたは赤のLEDランプによって示されるかもしれません。追加詳細については、[Cisco Unified MeetingPlace 8106 Cisco の記事におけるファントレイ 交換手順](#) を参照して下さい。

関連情報

- [Cisco Unified MeetingPlace 8112 におけるホットスワップコントローラ 交換手順](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace 8106 における CD トレイ 交換手順](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace 8112 における CD-ROM ドライブ 交換手順](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)